



# 末吉小だより

横浜市立末吉小学校  
学校だより

令和3年 11月号



## 自分の力を出しつくせ！ 挑戦 協力 末吉カップ

(令和3年度 末吉カップ スローガン)

学校長 本庄 則子

全校児童が毎日登校できるようになって1ヶ月。当初の予定より2週間あとになりましたが、10月30日に無事末吉カップを開催することができました。昨年同様、ご来賓の方々や地域の方々にご参観いただくことはかないませんでした。秋晴れの美しい空の下、子どもたちはきらきら輝いて競技や演技に取り組んでいました。PTA役員様をはじめ入替え制の参観にご協力いただいた保護者の皆様、練習や当日ご協力をいただいた近隣の方々、関わっていただいたすべての皆様に心から感謝申し上げます。

昨年度は、感染症対策を一番に考えた運動会を手探り状態で準備をし、実施してみてもわかったことや反省点がいくつもありました。今年はその経験を生かし、進めることができました。時間の制約があるため、1, 3, 5年生は競技、2, 4, 6年生は演技とし、各学年では密にならないように競技や演技を考え、プログラム順も昨年度と変更しました。PTAの方々には受付が滞留しないように工夫し、校庭の一方通行がスムーズにいくようにしてくださいました。6年生が当日の係の仕事を担当できたり、教室のTVに校庭の様子が映るようにしたり、PDCA（計画・実行・評価・改善）のサイクルがうまくまわって改善された今年の末吉カップでした。

そして、大きな学校行事には様々なドラマがつきものです。4年生が演技「虹」の練習をしていて、最後に空を見上げたら本当に虹がかかっていたのには驚かされました。ご家庭でも、末吉カップのことは話題にのぼっていたのではないのでしょうか。きっと、それぞれのお子さんに「挑戦」があり、がんばったことがあったと思います。満足したり悔しかったり、緊張したり友達との「協力」を実感したり。今年のスローガンの通り、自分の力を出しつくす経験をする、価値ある体験をすること、それが学校行事の意義であり、一人ひとりの成長につながると、あらためて実感させられました。

感染症が落ち着いているため、11月中旬の学年懇談会、下旬の修学旅行は実施の予定です。また、12月には土曜参観も予定通り実施できると考えています。毎日の通学に慣れたお子さんもまだリズムがつかめていないお子さんもいます。これからもご家庭や地域と協力しながら子どもたちが充実した学校生活を過ごせるようにしてまいりますので、よろしくお願いいたします。